

箇所	修正前	修正後
p.59 解表 1-8 自然含水比 w_n の欄 の下から2つ目	70%～100%	<u>100%</u> ～ <u>200%</u>

箇所	修正前	修正後
p. 352 「資表1-5地域別補正係数の地域区」の対象地域（三）の12行目	鹿児島県	鹿児島県 <u>(名瀬市及び大島郡を除く)</u>

箇所	修正前	修正後
<p>p.109 2) 2行名</p>	<p>(2) , 地盤からの浸透水が凍上することによって . . .</p>	<p>(2) , 地盤からの浸透水の影響により凍上が発生することによって . . .</p>
<p>p.388 Kersten の土質ごとの実測式 砂質土で未凍結時の場合の式</p>	<p>砂質土で未凍結時の場合 $u = \{ (0.7 \log w - 0.4) \times 10^{0.6242} d^{-3.4628} \} \cdot 418.6$</p>	<p>砂質土で未凍結時の場合 $u = \{ (0.7 \log w + 0.4) \times 10^{0.6242} d^{-3.4628} \} \cdot 418.6$</p>

道路土工要綱の訂正（平成22年5月（第3刷まで））

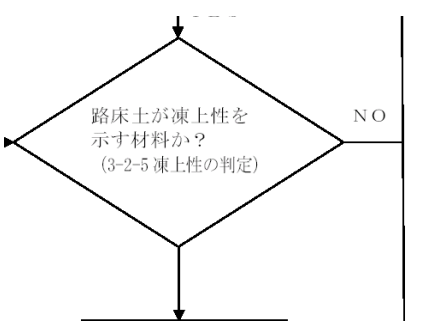
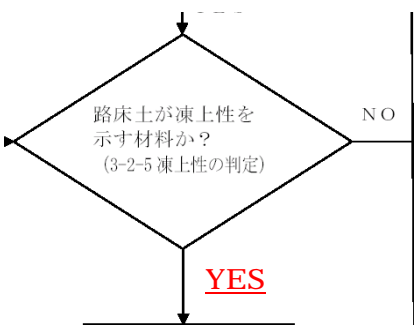
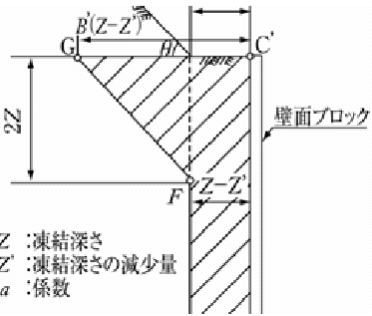
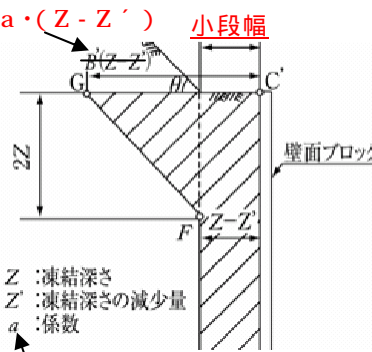
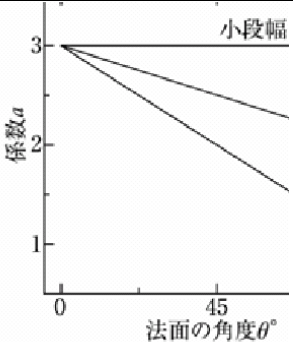
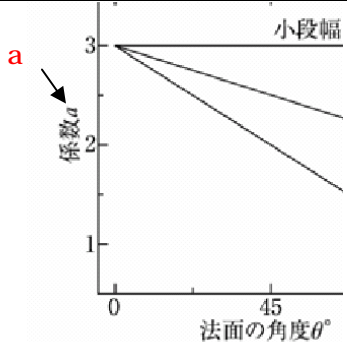
箇所	修正前	修正後
p.132 上から9行目	継続時間 t と地 ₁₀ 分間特性係数__ によって決まる補正係数で	継続時間 t と 10 分間特性係数 <u>10</u> によって決まる補正係数で・・・
p.272 解表 5 - 1 「礫混じり土」の 「固結した礫質 土」のLの範囲	1.25 ~ <u>1.40</u>	1.25 ~ <u>1.45</u>

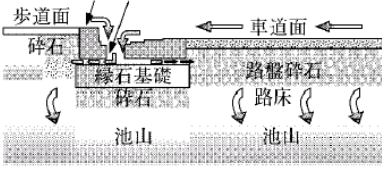
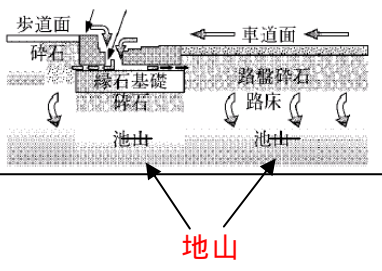
道路土工要綱の訂正（平成21年10月）

箇所	修正前	修正後
p.31 2-4 枠（2）	(2)・・・，これまでの経験・実績から(1)を満足する仕様等，適切な・・・	(2)・・・，これまでの経験・実績から <u>妥当と見なせる手法等</u> ，適切な・・・
p.34 下から7行目	また，これまでの経験・実績から(1)を満足する仕様（材料，施工方法等）については，・・・	また，これまでの経験・実績から <u>妥当と見なせる手法</u> （材料，施工方法等）については，・・・
p.51 解表 1-5 「膨張性の岩石」の「岩石名」の欄	蚊紋岩，泥岩，・・・	<u>蛇</u> 紋岩，泥岩，・・・
p.80 7行目	・・・地盤の深さ方向の <u>物理的</u> ，力学特性を，・・・	・・・地盤の深さ方向の <u>物理的</u> <u>特性</u> ，力学特性を，・・・
p.81 中段 (5) 室内試験 1行目後半	・・・十分に明らかにすることはできない場合は，・・・	・・・十分に明らかにすることは <u>が</u> できない場合は，・・・
p.84 中段 ()のり面，擁壁等・・・ 1行目	構造物の変状 <u>の</u> の主要原因・・・	構造物の変状 <u>の</u> 主要原因・・・
p.85 解表 1-11 「軟岩」の「適用」の欄	弾性波速度 700 ~ <u>2.800</u> m / sec	弾性波速度 700 ~ <u>2,800</u> m / sec
p.96 中段 ()有毒ガスの調査 2行目	ゴミ <u>捨</u> 場等の・・・	ゴミ <u>捨</u> 場等の・・・

p.101 6行目 後半以降	また、解図2-3に示す・・・ 目的も有する。	また、解図2-3に示す・・・ 目的も有する。 <解図2-3ではこの目的も示 しており、 一文は削除。 >																																																						
p.108 最終行	土工構造物の・・・	(一字下げて)土工構造物 の・・・																																																						
p.114 2行 目	・・・事前にそれぞれの道路管 理者と <u>事前</u> によく・・・	・・・事前にそれぞれの道路管 理者と <u>事前</u> によく・・・ <「事前に」が重複しているた め 削除 >																																																						
p.116 解図2-9 「調査項目」 最下段	地下水位・ <u>滞</u> 水層 地層構造 その他	地下水位・ <u>帯</u> 水層 地層構造 その他																																																						
p.125 2-3- 5 枠内2行目	・・・表面水，浸透水を <u>推定</u> し て・・・	・・・表面水，浸透水を <u>推定</u> し て・・・																																																						
p.125 2-3- 5 解説3行目	・・・表面水，浸透水を <u>推定</u> し，・・・	・・・表面水，浸透水を <u>推定</u> し，・・・																																																						
p.130 解図2-14 内の区分表 <HP上の図は 差し替え済み>	<table border="1" data-bbox="507 1294 842 1742"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>地方</th> <th>降雨強度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>北海道</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>青森</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>秋田、岩手、山形、宮城、 新潟、福島、長野・山梨の盆地</td> <td>80</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>茨城、長野、山梨、富山、 石川、福井、滋賀、京都、 大坂、兵庫、鳥取、島根、 岡山、広島、山口、香川、 愛媛</td> <td>90</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>静岡、愛知、岐阜、三重(志摩以北)、 奈良(大和川以北)、大分、 小笠原諸島</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>栃木、群馬、埼玉、東京、 千葉、神奈川、福岡、 熊本、宮崎</td> <td>110</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>三重(志摩以南)、 奈良(紀ノ川以南)、 和歌山、徳島、高知、佐賀、 長崎、鹿児島、伊豆諸島</td> <td>120</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>沖縄</td> <td>130</td> </tr> </tbody> </table>	区分	地方	降雨強度	1	北海道	60	2	青森	70	3	秋田、岩手、山形、宮城、 新潟、福島、長野・山梨の盆地	80	4	茨城、長野、山梨、富山、 石川、福井、滋賀、京都、 大坂、兵庫、鳥取、島根、 岡山、広島、山口、香川、 愛媛	90	5	静岡、愛知、岐阜、三重(志摩以北)、 奈良(大和川以北)、大分、 小笠原諸島	100	6	栃木、群馬、埼玉、東京、 千葉、神奈川、福岡、 熊本、宮崎	110	7	三重(志摩以南)、 奈良(紀ノ川以南)、 和歌山、徳島、高知、佐賀、 長崎、鹿児島、伊豆諸島	120	8	沖縄	130	<table border="1" data-bbox="949 1294 1284 1742"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>地方</th> <th>降雨強度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>北海道</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>青森</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>秋田、岩手、山形、宮城、 新潟、福島、長野・山梨の盆地</td> <td>80</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>茨城、長野、山梨、富山、 石川、福井、滋賀、京都、 大坂、兵庫、鳥取、島根、 岡山、広島、山口、香川、 愛媛、徳島(吉野川流域)</td> <td>90</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>静岡、愛知、岐阜、三重(志摩以北)、 奈良(大和川以北)、大分、 小笠原諸島</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>栃木、群馬、埼玉、東京、 千葉、神奈川、福岡、 熊本、宮崎</td> <td>110</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>三重(志摩以南)、 奈良(紀ノ川以南)、 和歌山、徳島(吉野川以南)、高知、 佐賀、長崎、鹿児島、伊豆諸島</td> <td>120</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>沖縄</td> <td>130</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="941 1771 1372 1989">編み掛けを無くした。また、区 分4に「徳島(吉野川流域)」を 追加。区分7の徳島は「徳島(吉 野川以南)」とする。</p>	区分	地方	降雨強度	1	北海道	60	2	青森	70	3	秋田、岩手、山形、宮城、 新潟、福島、長野・山梨の盆地	80	4	茨城、長野、山梨、富山、 石川、福井、滋賀、京都、 大坂、兵庫、鳥取、島根、 岡山、広島、山口、香川、 愛媛、徳島(吉野川流域)	90	5	静岡、愛知、岐阜、三重(志摩以北)、 奈良(大和川以北)、大分、 小笠原諸島	100	6	栃木、群馬、埼玉、東京、 千葉、神奈川、福岡、 熊本、宮崎	110	7	三重(志摩以南)、 奈良(紀ノ川以南)、 和歌山、徳島(吉野川以南)、高知、 佐賀、長崎、鹿児島、伊豆諸島	120	8	沖縄	130
区分	地方	降雨強度																																																						
1	北海道	60																																																						
2	青森	70																																																						
3	秋田、岩手、山形、宮城、 新潟、福島、長野・山梨の盆地	80																																																						
4	茨城、長野、山梨、富山、 石川、福井、滋賀、京都、 大坂、兵庫、鳥取、島根、 岡山、広島、山口、香川、 愛媛	90																																																						
5	静岡、愛知、岐阜、三重(志摩以北)、 奈良(大和川以北)、大分、 小笠原諸島	100																																																						
6	栃木、群馬、埼玉、東京、 千葉、神奈川、福岡、 熊本、宮崎	110																																																						
7	三重(志摩以南)、 奈良(紀ノ川以南)、 和歌山、徳島、高知、佐賀、 長崎、鹿児島、伊豆諸島	120																																																						
8	沖縄	130																																																						
区分	地方	降雨強度																																																						
1	北海道	60																																																						
2	青森	70																																																						
3	秋田、岩手、山形、宮城、 新潟、福島、長野・山梨の盆地	80																																																						
4	茨城、長野、山梨、富山、 石川、福井、滋賀、京都、 大坂、兵庫、鳥取、島根、 岡山、広島、山口、香川、 愛媛、徳島(吉野川流域)	90																																																						
5	静岡、愛知、岐阜、三重(志摩以北)、 奈良(大和川以北)、大分、 小笠原諸島	100																																																						
6	栃木、群馬、埼玉、東京、 千葉、神奈川、福岡、 熊本、宮崎	110																																																						
7	三重(志摩以南)、 奈良(紀ノ川以南)、 和歌山、徳島(吉野川以南)、高知、 佐賀、長崎、鹿児島、伊豆諸島	120																																																						
8	沖縄	130																																																						

p.135 式 (解 2 - 8)	$Q = (1/3.6 \times 10^6) C \cdot I \cdot \underline{A}$ あるいは $Q = (1/3.6) C \cdot I \cdot \underline{a}$	$Q = (1/3.6 \times 10^6) C \cdot I \cdot \underline{a}$ あるいは $Q = (1/3.6) C \cdot I \cdot \underline{A}$
p.137 解表 2-4 「水路の状況」の 欄の 5 行目	" (ペー <u>ピ</u> ングあり)	" (ペー <u>ピ</u> ングあり)
p.141 中段	・・・設計上は，式 (解 2 - <u>11</u>) の・・・	・・・設計上は，式 (解 2 - <u>12</u>) の・・・
p.143 解図 2-17 中段右側	(2) <u>短</u> 形側溝	(2) <u>矩</u> 形側溝
p.145 解図 2-18 下段	() 皿 <u>型</u> 側溝の例	() 皿 <u>形</u> 側溝の例
p.156 下から 10 ~ 11 行目	・・・，横断勾配 S および <u>通水</u> 可能幅 B ・・・	・・・，横断勾配 S および <u>許容</u> <u>通水幅</u> B ・・・
p.157 解図 2-29 グラフ左側	のみ口の長さ L = 60cm	のみ口の長さ L = 60cm < 下の説明と重複のため削除 >
p.170 14 行目	・・・砂質土で地下水 <u>泣</u> が・・・	・・・砂質土で地下水 <u>位</u> が・・・
p.173 中段 () 2 行目	・・・石積側溝は， <u>間</u> 詰め，ま たは・・・	・・・石積側溝は， <u>間</u> 詰め，ま たは・・・
p.181 下から 6 行目	・・・，盛土内へ浸入する・・・	・・・，盛土内へ <u>水</u> が浸入する・・・
p.184 2 - 8 枠内 2 行目	・・・， <u>常</u> に清掃を行う・・・	・・・，清掃を行う・・・ < 1 行目との重複のため削除 >

<p>p.203 解図 3-2</p> <p>右下側</p>		
<p>p.217 解表 3-3</p>	<p>1)盛土高さは解図 2-56 による。</p>	<p>1)盛土高さは「<u>道路土工 - 盛土工指針</u>」による。</p>
<p>p.226 解説の 3 行目</p>	<p>・・・側壁に大きな凍上量が・・・</p>	<p>・・・側壁に大きな凍上<u>力</u>が・・・</p>
<p>p.228 解図 3-12</p> <p>左上図</p>	 <p>Z : 凍結深さ Z' : 凍結深さの減少量 a : 係数</p>	 <p>$a \cdot (Z - Z')$ 小段幅</p> <p>Z : 凍結深さ Z' : 凍結深さの減少量 a : 係数</p>
<p>p.228 解図 3-12</p> <p>右上図</p>		

<p>p.245 解図 4-7 (c) 図</p>		
<p>p.246 解図 4-8 (b) 図 説明文</p>	<p>・・・この中に有効管・・・</p>	<p>・・・この中に有孔管・・・</p>
<p>p.284 中段</p>	<p>・・・切土によって発注する・・・</p>	<p>・・・切土によって発<u>生</u>する・・・</p>
<p>p.284 下段</p>	<p>・・・), 切盛土工 (雨期は不適) コンクリート・・・</p>	<p>・・・), 切盛土工 (雨期は不適) <u>レ</u> コンクリート・・・</p>
<p>p.291 中段 () の 3 段落目</p>	<p>・・・, 現在 (平成 19 年) 道路土工・・・</p>	<p>・・・, 現在 (平成 19 年) <u>の</u> 道路土工・・・</p>
<p>p.303 中段 式</p>	$\text{実作業時間率} = \frac{\text{実作時間}}{\text{運転時間}}$	$\text{実作業時間率} = \frac{\text{実作時間}}{\text{運転時間}}$ <p style="text-align: center; color: red;">実作業時間</p>
<p>p.316 下から 2 行目</p>	<p>・・・「労働安全衛生規則」,・・・</p>	<p>・・・「労働安全衛生規則」<u>レ</u>,・・・</p>
<p>p.335 解表 6-4 「地盤改良工」の 「検査対象」</p>	<p>(ただし,・・・)</p>	<p><u>同上</u> <元の記述は削除></p>
<p>p.335 解表 6-4 「石・ブロック積 工」の「検査対象」</p>	<p><u>100m につき 1 箇所以上 (ただし,・・・)</u></p>	<p><u>同上</u> <元の記述は削除。上記との整合></p>
<p>p.360 3 行目</p>	<p>・・・それぞれ求め図<u>し</u>し・・・</p>	<p>・・・それぞれ求め図<u>示</u>し・・・</p>